

人権推進課

人権推進課の取組は、平成13年1月に施行した「三木市人権尊重のまちづくり条例」に基づき行っている。具体的には、あらゆる人権課題への取組を推進し、人権が尊重される明るく住みよい社会の実現を図ることを目的として平成15年度から策定している「三木市人権尊重のまちづくり基本計画」（以下「基本計画」という。）を実行に移すため、全ての行政分野における人権行政の確立に向けた全庁的な取組として「三木市人権尊重のまちづくり実施計画」（以下「実施計画」という。）を平成16年度から毎年策定し、関係各課が計画した事業の推進に取り組んでいる。

また、平成23年度には、人権尊重のまちづくり推進の地域拠点として公民館を活用することや、「三木市人権・同和教育協議会」（以下「三同教」という。）の活動の活性化などに重点を置いて、「基本計画」の見直しを図り、それに基づく「実施計画」により新たな人権施策による効果的な人権教育・啓発を推進している。

平成28年度に実施した「人権に関する市民意識調査」「同和問題解決に向けた実態調査」「外国人市民実態調査」及び「男女共同参画に関する市民意識調査」の結果から、これまでの施策の成果として人権意識が日常生活に根付いてきていることがうかがえた。しかし、若い世代での無関心層の増加や、社会全体に依然として差別意識が残っていることも明らかになった。

平成29年度には、これらの調査結果に基づき基本計画を作成し、平成30年度からの「三木市人権尊重のまちづくり基本計画（第3次）」及び「三木市男女共同参画プラン（第3次）」に従い平成30年度の実施計画を策定し、人権施策の推進を図った。

1 人権尊重のまちづくり推進事業

(1) 三木市人権尊重のまちづくり実施計画の推進

人権尊重のまちづくり実施計画に関して、平成30年度の各課題に対する取組・推進状況を上期（平成30年4月～9月）と全期（平成30年4月～平成31年3月）に分けて各部に提出を求め、三木市人権尊重のまちづくり推進審議会に報告の上、意見等を聴取した。

また、審議会での意見、各施策の取組状況を次の場所において公表した。

- ・公表場所 市ホームページ、市役所情報公開コーナー、総合隣保館

(2) 三木市人権尊重のまちづくり推進審議会の開催

三木市人権尊重のまちづくり条例に基づき、平成13年6月に三木市人権尊重のまちづくり推進審議会を設置した。

審議会の構成メンバーは、広く市民の意見を反映させるため、各種関係団体代表者と一般公募者、学識経験者の計20人で構成している。

- ・委員任期 平成29年7月 7日～令和元年5月31日
- ・開催日 平成30年8月29日、平成31年3月25日
- ・議題 平成30年度三木市人権尊重のまちづくり実施計画（案）について
平成30年度三木市人権尊重のまちづくり実施計画の取組状況について
各人権課題の取組について

2 同和生業資金償還事業

昭和50年度から56年度まで実施した同和生業資金の貸付にかかる償還について、残る滞納者は4人、滞納額は3,085,355円（平成31年3月末）となっている。

滞納者に対しては、電話や文書、訪問などの方法を通じて個々の事案を十分に調査、把握し、それぞれの状況に応じた適切な償還方法で滞納解消に努めている。

3 男女共同参画事業

平成11年6月に施行された「男女共同参画社会基本法」及び平成13年1月に施行された「三木市人権尊重のまちづくり条例」を踏まえ、「三木市男女共同参画プラン（第3次）」及び「三木市男女共同参画プラン実施計画書」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進している。

男女共同参画センターでは、「男は仕事、女は家庭」などの固定的な性別役割分担意識を是正していくことや、社会の制度や慣行の中にある偏った意識を変えていくため、男性講座や女性講座の実施、女性の相談事業、活動や交流の支援、情報誌の発行、情報の収集と提供を行っている。

また、女性たちがネットワークを広げることや女性の人材育成などの支援を行っている。

(1) 三木市男女共同参画セミナー

ア 出前講座

回	開催日 会 場	講 師	内 容	参加人数
1	4月24日 吉川町公民館	整理収納アドバイザー 魚林佐起子	モノの整理はこころの整理～自分らしい生き方を見つけるために～	69
2	7月18日 緑が丘町公民館	コミュニケーション・サポーター 横山由紀子	我慢しないで、人から好かれるコツ！～人間関係を良くするコミュニケーション～	85
3	9月13日 別所町公民館	古典文学研究家 森田充代	歴史から見える「女へん」の漢字	60
4	9月27日 志染町公民館	関西学院大学災害復興制度研究所研究員 斉藤容子	男女に学ぼう防災	24
5	10月24日 三木南交流センター	噺家 てんご堂雅落	笑い合える喜びを感じましょう！	79
6	12月20日 まなびの郷みずほ	落語家 林家笑丸	「笑顔のススメ」みんなで「わろてんか」～笑いは健康の泉 人生のパートナー～	127
7	2月8日 口吉川町公民館	行政書士 中井さとみ	エンディングノートがつなぐ家族の絆	33
8	2月19日 中央公民館	元漫才師・尼崎市役所職員 桂山智哉	お笑いから学ぶコミュニケーション	121
9	3月16日 青山公民館	パティシエ エスコヤマ 小山 進	世界のパティシエに学ぶ～地域活性化の原点は人の心をつかむことから～	70
合 計				668

イ 弁護士による法律セミナー

回	開催日	場所・講師	内 容	参加人数
1	11月28日	教育センター 奥見はじめ(弁護士)	働き方改革について～長時間労働や同一労働・同一賃金について考えよう！～	20

ウ 男性のための簡単料理講座

回	開催日	場所・講師	内 容	参加人数
1	10月10日	総合保健福祉センター (三木市いずみ会)	準備からすべて参加者で行い、自分で食べる分を自分で作る	31
2	11月7日			
3	12月19日			

エ 男女共同参画セミナー（兵庫県男女共同参画推進員北播磨地域連絡会議との共催）

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
11月11日	教育センター 沼澤郁美 （特定社会保険労務士）	大丈夫？あなたの将来設計は！～年金の仕組みを知って、賢く受給しよう～	35

オ 女性のための起業セミナー

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
1月11日	教育センター 宇田名保美 （中小企業診断士）	2回でできる！ネットショップ	9
1月18日			8

カ 出張！女性のための働き方セミナー（兵庫県との共催）

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
9月29日	教育センター 藤原寛子 （社会保険労務士）	介護離職を防ごう！	10

キ 市職員対象の男女共同参画研修

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
10月23日 10時30分～12時	教育センター 正井禮子 （ウィメンズネット・こうべ代表）	DV被害者へのより良い支援に向けて～連携が不可欠です～	123
10月23日 13時30分～15時			126

ク 女性のための護身術セミナー

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
2月23日	市民活動センター 三木警察署員 （生活安全課）	いざという時に自分の身を守る方法（実技指導）	17

(2) 男女共同参画週間記念講演会

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
6月23日	教育センター 高嶋紀子 （ジャーナリスト）	講演「あなたと私のこれからの人生～仕事（含家事・育児・介護）と生活のバランスを取るために～」	40

(3) 市民企画講座

男女共同参画社会を実現するために、男女共同参画センターが実施する事業の他に、地域で活動している市民や団体と協働して取り組む事業として、市民や団体が企画する男女共同参画に関する講座を公募し、講座を実施するための支援を行った。

ア 募集期間 平成30年6月1日～平成30年7月31日

イ 募集件数 1件

ウ 実施団体 こらぼーよ編集委員会

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
1月27日	三木南交流センター 橘田恵 （侍ジャパン日本女子代表監督）	夢をかなえる～侍ジャパン女子代表監督として～	120

(4) 啓発

ア 男女共同参画週間啓発展示

6月23日から29日の「男女共同参画週間」に、市役所と公民館に啓発用のぼり旗を設置

した。また、市役所プロムナードで、男女共同参画センターと「男女共同参画プラン（第3次）」のパネル展を実施した。

イ 男女共同参画に関するアンケート（兵庫県男女共同参画推進員北播磨地域連絡会議との共催）

11月11日の男女共同参画セミナー及び、12月9日の総合隣保館文化祭において、男女共同参画に関するアンケートを実施し、2日間の合計で157名より回答をいただいた。

ウ その他の展示

日 時	場 所	内 容
8月 4日～ 9月 6日	口吉川町公民館	男女共同参画プラン（第3次）の啓発展示
8月 20日～ 8月 27日	中央図書館	
9月 6日～ 9月 28日	志染町公民館	
10月 12日～10月 15日	緑が丘町公民館	
11月 8日～11月 30日	別所町公民館	
12月 7日～ 12月 9日	総合隣保館	内閣府・男女共同参画推進連絡会議 発行「ひとりひとりが幸せな社会のために」の啓発展示

(5) 情報誌の発行

情報誌「こらぼーよ」を情報誌編集グループの協力を得て企画・編集し、年間4回発行した。

発行部数：2, 100部／回

配布先：市内公共施設全般、大型店舗、公共交通機関の駅、近隣市町など

発刊号名称	ページ数	主な掲載情報
第44号 2018・春	A4判 4P	・「気持ちわかる～!!」ママたちが作ったカルタがネットで話題に!! ・子育て世代の味方、たくさんありますよ♪ ・三木市男女共同参画プラン（第3次） ・セミナー報告「今、なぜ男女共同参画なのか～男女が共に活躍できる社会の実現をめざして～」 ・子どもの貧困について考える・・・ など
第45号 2018・夏	A4判 2P	・男女共同参画週間記念講演会の感想 ・性別の垣根を超えた真剣トキメキ・ラブコメディ ・男の子だってお姫様になれる! など
第46号 2018・秋	A4判 4P	・「東京医大不正入試問題」を医療に関わるひとりとして考える ・女性は妊娠・出産するから迷惑をかける? ・国民は生産するためのロボットではない!!～多くの人を傷つけた杉田衆議院議員の差別発言～ ・セミナー報告「出張! 女性のための働き方セミナー『介護離職を防ごう』」 ・「運動会!」お弁当今昔～家族・子育てに男女共同参画～ など
第47号 2019・冬	A4判 2P	・警察官の男女比率に思うこと ・物議をかもした「女性に対する暴力をなくす運動」啓発ポスター ・「医学部不正入試問題」その後 など

(6) 三木市男女共同参画センター運営委員会

任 期：2年（平成29年5月1日～平成31年4月30日）

委 員 数：9人（女性7人、男性2人）

活動内容：男女共同参画センターの運営及び事業や取組に協力するとともに協議を行う。
開催回数：6回

(7) 女性のための相談室

女性問題相談員（2人、1日1人対応）が、男女共同参画センターで電話相談及び面接相談に応じている。

ア 相談日時

(ア) 電話相談：毎週火曜日 午前10時～正午、毎週木曜日 午後1時～4時

(イ) 面接相談：毎週火曜日 午後1時～4時、毎週木曜日 午前10時～正午（要予約）

イ 相談件数

211人（電話82人、面接129人）から相談があった。内容別相談件数は、431件（電話160件、面接271件）となっており、主な相談内容は次のとおりである。

順位	内容別相談件数	件数	割合（％）
1	生き方	114	26.5
2	夫婦関係	111	25.8
3	家族関係	83	19.3
4	こころ	80	18.6

(8) 女性のための弁護士相談

配偶者や恋人間のトラブル（DV、ストーカー被害、借金）、離婚（親権、養育費、財産分与）などの女性の悩みに理解のある女性弁護士が行う面接相談（無料）を実施した。

ア 相談弁護士：兵庫県弁護士会から選任された弁護士

イ 相談日時：毎月第4水曜日

午後1時40分～午後4時20分（1人40分）

ウ 相談人数：35人

(9) 女性のためのチャレンジ相談事業（三木市・兵庫県共催）

再就職、起業、資格取得などをめざす女性のためのチャレンジ相談を実施した。

ア 相談日時：7月23日 午前9時～正午（1人50分）

イ 相談員：飯鉢 仁弥（キャリア・デベロップメント・アドバイザー、産業カウンセラー）

ウ 相談人数：3人

(10) 男女共同参画センター登録グループの活動

女性の地位向上、男女共同参画社会の実現をめざした学習活動を行うグループや、女性の社会参加を促進し実践するグループに対し、活動支援を行った。

	グループ名	会員数	活動内容
1	みず。（どっと）みきず	6	学習会の開催、講座の企画及び開催など
2	ほっとカフェ	3	自主学习、まなび合い
3	情報誌編集グループ	6	男女共同参画センター情報誌の企画・編集、市民への情報の周知など

(11) DV被害者の新たな生活応援事業「こらぼーよステーション」

お金や身の回りの物を持ち出せずシェルターなどに緊急避難するDV被害者が、シェルター退所後、自宅以外で新たな生活を始めるために、市民に自宅で不要になった生活物資の寄贈を呼びかけ、寄贈を受けた物資をDV被害者に提供することにより、新たな生活を始める手助けを行った。

ア 寄贈者：25人

イ 寄贈物品数：533点（台所用品：157点、日用雑貨：277点、その他：99点）

(12) 図書・情報の提供

ア 男女共同参画センターの一面を男女共同参画社会の実現を目的とした個人やグループでの活動に自由に利用できる場所として提供している。また、女性・男性問題や男女共同参画に関する図書を整備し、貸出も行っている。(貸出は1人5冊、2週間)

図書蔵書数2, 485冊(平成30年度購入及び寄贈65冊)、ビデオ・DVD46種類
利用者25人、貸出冊数45冊

イ 県内外の自治体等の男女共同参画に関する情報の収集と提供

各地の男女共同参画センターが発行している情報誌や講座案内のチラシなどを配置し、自由に閲覧・配布できるようにしている。

4 配偶者暴力相談支援事業

(1) DV相談室(配偶者暴力相談支援センター)

婦人相談員によるDV相談・支援を行っている。(場所は非公表)

ア 相談日時: 毎週月曜日～金曜日 午前9時から午後5時まで(5月末までは土曜日も開設)

イ 相談件数 : 527件(電話337件、来所190件)

ウ 相談者実人数 : 107人

エ 関係機関への連絡: 27件

オ 証明書発行 : 30件

カ 一時保護支援 : 3件

(2) 相談窓口の啓発

11月に市内の1か所の大型店舗でDV相談室啓発カードを配布し、啓発を行った。

5 人権相談事業

人権擁護委員(11人)による相談事業を実施した。

(1) 定例相談

日時・会場	毎月第1金曜日	午後1時～4時	緑が丘町公民館
	毎月第3木曜日	午後1時～4時	市役所2階入札控室
	5、8、10、3月の 第2木曜日	午後1時～4時	吉川支所多目的室

(2) 特設相談

人権擁護委員の日	6月1日	午後1時～4時	緑が丘町公民館
人権週間	12月6日	午後1時～4時	吉川支所多目的室
	12月7日	午後1時～4時	緑が丘町公民館

6 人権教育事業

(1) 人権教育指導員研修会

社会教育における人権教育・啓発の推進リーダーとしての資質の向上を図るため実施した。

回	開催日・会場	研修内容	参加人数
1	4月26日 総合隣保館	今年度の活動及び研修計画 じんけん釣りゲーム(子どもの権利 条約)	19
2	5月19日 市民活動センター	三同教総会	16

3	5月24日	総合隣保館	人権啓発ビデオ「あした咲く」視聴 と参加体験型学習(じんけん釣りゲーム(Bパターン)、あれ、どこかがちがう)	20
4	6月14日	総合隣保館	人権作文・標語の審査	19
5	7月26日	総合隣保館	住民学習に向けて DVD視聴	14
6	8月19日	三木市文化会館	市民じんけんの集い	15
7	9月8日	館外施設見学	国立療養所 長島愛生園	8
8	10月25日	総合隣保館	住民学習の状況及び各地区の交流、 DVD視聴	19
9	11月17日	三木市文化会館	三同教研究大会	8
10	1月24日	館外フィールドワーク	加西市鶴野飛行場跡など	16
11	2月28日	総合隣保館	人権DVD試写会	14
12	3月14日	総合隣保館	参加体験型学習 今年度の反省とまとめ	12
合 計				180

(2) 人権教育に関する講座

回	開催日・会場	研修内容	参加人数
1	5月19日 市民活動センター	三木市人権・同和教育協議会総会 講演 「三同教50周年を迎えて —これまでとこれから—」 講師 春川政信	355
2	8月19日 三木市文化会館	市民じんけんの集い 講演 「すべての人が尊敬される地域をめざして ～民設置民営の隣保館を拠点に～」 講師 住吉隣保事業推進協会 常務理事 友永 健吾 講演 「障害者への合理的配慮と地域共生社会」 講師 毎日新聞論説委員 野澤 和弘 講演 「あったか地域の大家族 ～富山型デイサービスの25年～」 講師 NPO法人 このゆびと一まれ 理事長 惣万佳代子	788
3	10月25日 教育センター	「いじめ・不登校を考えるフォーラム」 講演 「医療の観点から見た不登校状態にある子へのかかわり方」 講師 県立ひょうごこころの医療センター 児童精神科医師 木下直俊	42
合 計			1,185

(3) 社会教育指導者養成

住民学習の学習内容・実施方法等を学ぶため、住民学習の指導者及びリーダー研修を各地域で実施した。

事業名	内 容	実施日	実施場所
住民学習指導者研修	実施回数 18 回 参加者人数 1,153 人 行政職、教職員、人権教育指導員他 各地区地推協等で実施	年 間	各公民館 市役所
住民学習リーダー研修（上記との重複分は除く）	実施回数 8 回 参加者人数 237 人 区長、社会教育推進委員、地推協役員他 三木地区、三木南地区、別所地区、 志染地区、細川地区、口吉川地区、 緑が丘地区、自由が丘地区、青山地区、 吉川地区で実施	年 間	各公民館 市役所

(4) 住民学習

人権尊重のまちづくりを進めるため各自治会、各地区人権・同和教育推進協議会で実施した。

事業名	内 容	実施日	実施場所
住民学習会	三 木 地 区 44 回 778 人	7 月～3 月	各地区
	三 木 南 地 区 11 回 257 人		
	別 所 地 区 17 回 373 人		
	志 染 地 区 21 回 417 人		
	細 川 地 区 22 回 368 人		
	口 吉 川 地 区 18 回 328 人		
	緑 が 丘 地 区 8 回 215 人		
	自 由 が 丘 地 区 16 回 359 人		
	青 山 地 区 6 回 130 人		
	吉 川 地 区 46 回 973 人		
	合 計 209 回 4,198 人		
区別人権・同和教育研究大会	三 木 地 区 参加者 66 人 内 容 人権作文朗読とドキュメンタリー 映画上映「カレーライスを一から作る」	11 月 24 日	中央 公民館
	三 木 南 地 区 参加者 48 人 内 容 実践発表と講演 講 師 関西国際大学人間科学部准教授 梶正義	1 月 12 日	三木南交 流センタ ー
	別 所 地 区 参加者 149 人 内 容 人権作文朗読と実践発表 映画上映「人生フルーツ」	2 月 3 日	別所町 公民館
	志 染 地 区 参加者 125 人 内 容 人権作文朗読と実践発表 講演会 講 師 三同教副会長 春川政信	11 月 11 日	志染町 公民館

細川地区	参加者 87人	9月8日	細川町公民館
内容 実践発表と映画上映「さとにきたらええやん」			
口吉川地区	参加者 89人	12月1日	口吉川町公民館
内容 人権作文朗読と実践発表講演会			
講師 アコースティックデュオ ちめいど			
緑が丘地区	参加者 156人	2月10日	緑が丘町公民館
内容 作文発表、活動発表			
自由が丘地区	参加者 171人	2月17日	自由が丘公民館
内容 人権作文朗読と講演会			
講師 浪速少年院 統括専門官 竹内良雄			
青山地区	参加者 19人	11月23日	舩松人権歴史館他
内容 館外視察研修			
吉川地区	参加者 180人	12月15日	吉川町公民館
内容 あったかといっていいな大会 市民人権劇「わたしに失敗させてよ」			

(5) 団体別学習

婦人会、PTA、老人クラブ、民生委員児童委員等の団体別学習を実施した。

事業名	内 容	実施日	実施場所
団体別研修会	婦人会・老人クラブ・登録団体 39回 2,266人	年 間	各地区
認・幼・保・小・中・特別支援学校 PTA 人権・同和研修会	保・認・幼稚園(所) 8園 人数 556人 小・特学校 17校 人数 1,456人 中学校 8校 人数 343人	年 間	各学校

(6) 人権教育総合推進事業

ア 教育事業

人権尊重の仲間づくりや地域づくりをするために実施した。

事業名	回数	人数	場 所
A 地区教育事業	成 人	0	各地区公民館・集会所等
	青少年	80	
B 地区教育事業	成 人	4	〃
	青少年	0	
C 地区教育事業	成 人	0	〃
	青少年	57	
D 地区教育事業	成 人	1	〃
	青少年	0	
E 地区教育事業	成 人	5	〃
	青少年	87	
F 地区教育事業	成 人	0	〃
	青少年	0	

G 地区教育事業	成 人	2	52	〃
	青少年	88	605	
H 地区教育事業	成 人	0	0	〃
	青少年	0	0	
I 地区教育事業	成 人	0	0	〃
	青少年	101	677	
J 地区教育事業	成 人	2	111	〃
	青少年	42	746	
教育事業学習交流会	青少年	1	56	勤労者体育センター 市民体育館等

イ 人権リーダー育成講座

人権学習会等で、リーダーとして活躍できる人材の育成をめざして実施した。

回	開催日・会場等	研 修 内 容	参加人数
1	1 月 20 日 市民活動センター	三同教 50 周年記念事業 市民人権劇「わたしに失敗させてよ」	25
2	1 月 24 日 加西市周辺	人権フィールドワーク 皮多村庄屋・幸左衛門墓地、鶴野飛行場跡	2
3	2 月 28 日 総合隣保館	人権啓発 D V D 視聴	6
4	3 月 16 日 京都	都・東山文化を支えた被差別民の歴史と新たな人権のまちづくりに学ぶ 下鴨神社、鴨川河川敷（出町デルタ）、銀閣寺、八坂神社、柳原銀行記念資料館、崇仁地区	4
合 計			37

ウ 人権教育団体活動助成事業

市民団体等の人権に関わる教育活動を支援した。

登録団体名	活 動 内 容	登録人数
テアトロ三木	人権問題について演劇を通じて広く啓発	16
鳥町推進協議会	学習会やイベントを通じた人権意識高揚を図る	11
いのちを考える 三木市民の会	いのちの尊厳を学ぶ人権学習会等の開催	10
ダイバーシティ みき	様々な人権課題について学ぶ	10
まなびや・いちご塾	子どもの人権等、さまざまな人権学習の開催	10
N P O 法人自立生活 支援センター歩	さまざまな人権問題に関する講演会等の開催	20

7 人権啓発に関すること

(1) 啓発資料の作成

以下の資料を作成・編集し、配布した。

- ア 人権問題啓発資料「ふるさとに生きる v o l . 2 8」・・・【市内全戸配布】
- イ 人権作文集第48集・・・【学校園他配布】
- ウ 第34回三木市人権・同和教育研究大会研究集録・・・【三同教関係団体配布】
- エ 人権・同和教育実践記録集第44集・・・【三同教関係団体配布】
- オ 視聴覚資料一覧・・・【学校、企業、各団体】

(2) 人権尊重のまちづくり推進強調月間

人権尊重のまちづくりの気運を醸成するため、以下の取組を実施した。

ア ポスター・標語・作文の募集

作品区分	ポスター（点）	標語（点）	作文（点）
小学校	3,460	3,489	2,458
中学校・特別支援学校	1,880	1,895	1,858
P T A ・一般	募集せず	73	42
合 計	5,340	5,457	4,358

イ 広報活動

- (ア) スローガン入りウェットティッシュの配布
- (イ) 公用車の啓発マグネットシートの貼付
- (ウ) 啓発ポスター・標語ポスターの作成配布
- (エ) 「広報みき（8月号）」等による啓発
- (オ) 人権尊重のまちづくり推進強調月間街頭PR（イオン、コープ等）
- (カ) みっきい広場において啓発ポスター等の展示

ウ 「市民じんけんの集い」の開催

- (ア) 人権作文・標語・ポスター優秀作品の表彰
- (イ) 三同教50周年記念式典
 - ・ロゴマーク受賞者の表彰
 - ・人権尊重のまちづくりに寄与された団体の表彰
- (ウ) 講演「すべての人が尊敬される地域をめざして～民設置民営の隣保館を拠点に～」

講師 住吉隣保事業推進協会 常務理事 友永健吾

講演「障害者への合理的配慮と地域共生社会」

講師 毎日新聞論説委員 野澤和弘

講演「あったか地域の大家族 ～富山型デイサービスの25年～」

講師 NPO 法人 このゆびと一まれ 理事長 惣万佳代子
- (エ) パネルディスカッション

8 三木市人権・同和教育協議会

三同教と連携することにより、部落差別をはじめ、あらゆる差別を解消するための人権・同和教育の推進を図った。平成30年度は三同教発足50周年の節目の年であったことから、例年実施している事業に加え、多くの記念事業を実施し、人権尊重のまちづくりの機運を高めた。

(1) 総会、研究大会、専門部会研修会

市民の目線で人権・同和教育や啓発を進め、人権尊重のまちづくりを進める研修会等を行った。

- (2) じんけんサポート事業（５８件）
PTAや老人クラブなどの団体や企業が人権研修会や視察・交流研修などを行う際の費用の一部を補助した。
- (3) じんけんスタディ事業（中学校８件、高等学校４件、大学３件）
若者層への人権意識の高揚、啓発のため中・高・大学生を対象として、デートＤＶなどの人権研修を実施する中学校、高等学校及び大学に対し経費の一部を助成した。
- (4) じんけん・こころの小窓事業（５２回）
人権についての身近な話題をラジオ番組で提供した。
- (5) フィールドワーク事業（１回）
人権にかかわりのある地域や史跡などを訪れ、差別の歴史や人々の思いなどを学んだ。
- (6) じんけんリーフレット作成事業（１，０００部）
これまでに市民から募った人権メッセージのうち優秀な作品をもとに「じんけんリーフレット」を作成し、啓発を図った。
- (7) 学習活動支援事業（１４件）
研究大会や各種研修に参加する人に対する支援を行い、学習機会を拡大し、人権教育・啓発活動の活性化を図った。
- (8) 人権ふれあい交流事業（２回）
平成３０年度は、市民じんけんの集い（８月１９日）に合わせてバリアフリー映画会としてワーナーアニメ映画「コウノトリ大作戦」上映会を、三同教研究大会（１１月１７日）の特別分科会としてディズニーアニメ映画「ベイマックス」上映会をそれぞれ開催した。
- (9) 青少年教育補助事業（１７件）
子どもたちのたくましい心を育てていくため、地域に根差す人権団体に対し、教育事業に係る経費を助成した。
- (10) スリーサポーターズ登録制度（５４人）
三同教の活動に興味を有する地域住民の方をスリーサポーターズとして登録し、活動に参画していただくことで、三同教の活動の活性化を図った。
- (11) ５０周年記念式典の開催（参加人数１，０３１人）
８月１９日の市民じんけんの集いに合わせて、三同教５０周年記念式典を開催するとともに、市とともに「“ちゃんとあるで、あなたの居場所”シンポジウム in みき」を開催した。また、市内１０地区の人権・同和教育推進協議会において、それぞれ記念事業を実施するとともに、記念式典時に各地区の取組をパネル展示することにより広く周知し、地区間の交流を図った。
- (12) 市民人権劇上演（３回）
三同教５０周年記念事業の一環として、市民から劇団員を募って市民あったか劇団を結成し、手づくりの市民人権劇「わたしに失敗させてよ」を上演した。

回	開催日	開催場所	参加人数
1	12月9日	総合隣保館	160
2	12月15日	吉川町公民館	180
3	1月20日	市民活動センター	160

(13) 50周年記念誌の作成（500部）

三同教のこれまでの50年を振り返るとともに50周年記念事業も盛り込んだ記念誌を作成し、構成員、関係者や関係団体等に広く配布した。

9 総合隣保館事業に関すること

(1) 隣保館運営委員会

隣保館の運営方針及び主要な事業の企画等、館の適正かつ円滑な運営を図るため開催した。

回	開催日	審議内容	参加人数
1	4月26日	(1) 平成29年度総合隣保館事業実施状況について (2) 平成29年度総合隣保館利用状況について (3) 平成29年度総合隣保館事業における成果と課題 (4) 平成30年度総合隣保館運営方針（案）について (5) 平成30年度総合隣保館事業計画（案）について	13
2	8月29日	(1) 平成30年度同和教育セミナーについて (2) 平成30年度総合隣保館事業実施状況について (3) 平成30年度人権フォーラムの開催について (4) 第35回総合隣保館文化祭について	12
3	3月26日	(1) 平成30年度総合隣保館事業実施状況について (2) 平成30年度総合隣保館利用状況について (3) 平成30年度総合隣保館事業における成果と課題 (4) 平成31年度総合隣保館運営方針（案）について (5) 平成31年度総合隣保館事業計画（案）について	12

(2) 相談事業

地域住民の健康の増進と生活上の相談に応じるとともに、適切な指導・助言を行うことにより生活の社会的、経済的向上を図ることを目的として実施した。

相談事業の開催状況

区分	内 容	相談件数合計
相談事業	・経営相談 43件 ・税務相談 92件 ・金融相談 5件 ・労働相談 2件 ・経理相談 0件 ・人権相談 11件 ・福祉相談 0件 ・教育相談 0件 ・職業相談 1件 ・生活相談 9件 ・その他 3件	166件

(3) 地域福祉事業

あらゆる人権問題の速やかな解決を図るため、各地区（集会所）等において福祉の増進、生活の向上をめざした事業を実施し住民の自立を支援した。

事業名	事業内容	実施回数	参加人数
料理教室	旬の食材を使った料理や健康料理教室を実施	2	18
子ども工作教室	夏休みに近隣の子どもたちで工作教室を実施	1	10
手芸教室	手芸の制作を実施	2	50
高齢者教室	人権学習会を実施	1	14
合 計		6	92

(4) 啓発広報活動事業

あらゆる人権問題に対する理解と認識を深め、自主的に研修する市民の集いとして、同和教育セミナー等各種講演会を開催するとともに、啓発広報活動として広報誌を発行した。

ア 啓発活動事業

(ア) 同和教育セミナー

広く市民が同和問題を正しく理解し、同和問題の解決のために必要な知識を得るための研修の場として実施した。

回	開催日・会場	内 容	参加人数
1	6月15日 教育センター	テーマ「インターネット上の差別と人権」 (講師) NIT 情報技術推進ネットワーク(株) サイバーパトロール監視員 筒崎 眞美	138
2	6月22日 吉川町公民館	テーマ「多文化共生社会をめざして ～在日外国人から見た日本～」 (講師) 兵庫県人権教育研究協議会事務局 後藤 みなみ	84
3	6月29日 教育センター	テーマ「日本国憲法と部落差別」 (講師) 大阪市立大学元教授 上杉 聡	114
合 計			336

(イ) 人権フォーラム

あらゆる人権問題について、身近な市民の方が願いや意見、体験を発表することにより、お互いにふれあいを図るとともに、認識を深めることで、市民の人権意識が高揚することを目的として実施した。

回	開催日・会場	内 容	参加人数
1	10月19日 総合隣保館	「え、なんで？」(作文朗読) 「日本文化の美徳について」 「いじめの構造～スクールカーストとは?～」	132
2	10月23日 総合隣保館	「自分らしさ」(作文朗読) 「自分にできることを探して」 「児童養護施設から見えるもの」	100
3	10月26日 総合隣保館	「自分が支えになれるように」(作文朗読) 「「障害」と向き合う」(作文朗読) 「血縁をたどって」 「同和問題にかかわる中で学んだこと」	105
合 計			337

(ウ) 三木市立総合隣保館文化祭記念講演会等

12月の人権週間に実施する意義と人権について学ぶことの大切さを伝える場として、また、あらゆる人権問題について感性に訴え、人権意識の普及、高揚を図ることを目的として実施した。

開 催 日	内 容	参加人数
12月8日	歌とお話の夕べ ムジカ・ドルチェ&バッタくんプロジェクト	83
12月9日	テーマ「人権の歴史から学ぶ ー世界人権宣言 70周年に当たってー」 (講師) (一社)部落解放・人権研究所名誉理事 友永 健三	128

(エ) 総合隣保館視察研修会（フィールドワーク）

同和問題をはじめとする人権問題について、知識と見識を深め人権感覚を磨く場として実施した。

開 催 日	行 き 先	参加人数
7月14日	赤レンガ博物館、舞鶴引揚記念館	22
3月16日	京都・東山文化を支えた被差別民の歴史と新たな人権 のまちづくりに学ぶフィールドワーク (三同教共同開催)	43

(カ) 図書の充実と利用

- ・貸出冊数 180冊
- ・貸出人数 85人
- ・購入冊数 18冊

イ 広報活動事業

(ア) 隣保館だよりの発行

- ・発行部数 毎月発行4,600部
- ・配布先 市内全自治会(回覧)、公共施設、各支部等

(イ) 啓発冊子「しあわせに生きる」の発行

- ・発行部数 1,200部(年1回)
- ・配布先 各種団体代表、教育機関、公共施設、各支部等

(5) 教養文化及びその他に関する事業

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、周辺地域住民の参加により交流を促進することによって、人権・同和問題を解決することを目的として実施した。

ア 教養文化講座

N0	教 室 名	実施回数	延べ参加人数	指 導 者	備 考
1	着付教室	21	100	小 西 修 子	月2回
2	歌謡同好会	5	32	黒 田 和 彦	月2回
3	習字教室	24	142	富 岡 式 子	月2回
4	手芸教室	22	81	嶋 田 千津子	月2回
5	茶道教室	37	148	杉 本 さわゑ	月4回
6	書を楽しむ きらきら書 道教室	12	170	藤 原 常 貴	月1回
合 計		121	673		

イ 生活講座及び教養文化講座関連事業

事業名	実施日	内 容	参加人数
フラワーアレンジメント教室	12月28日	テーマ「新春を生ける」 講師 田 中 真 紀	15
	3月1日	テーマ「ひなまつり」 講師 田 中 真 紀	10
閉開講式	3月22日	人権学習に関する講話 「つながってるって あったかい」 (講師) みっきい生涯学習講師団講師 小林 伶子	14
合 計			39

ウ 子ども教室

小学生を対象にさまざまな体験をとおして、明るく、たくましく、やさしい心を育むことを目的に実施した。

(ア) 夏休み子ども教室

夏休み期間中、園児及び児童（小学校1～3年生）を中心に、夏休み中の生活をリズミカルに楽しく、充実したものとするために実施した。

教 室 名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備 考
夏休み子ども教室	9	98	退職教員等	夏休み中9日間
夏休みバス遠足	1	13	館職員	姫路科学館
合 計	10	111		

(イ) 子ども教室

物づくりに興味を持たせるとともに、体力づくり、知的好奇心の高揚、交流での仲間づくりをとおして人権感覚を培うために実施した。

教 室 名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備 考
土曜子ども教室	17	212	館職員	第2・4土曜日
交流ハイキング 3月26日	1	14	館職員	神戸市立王子動物園
合 計	18	226		

(ウ) 総合隣保館文化祭

豊かな人間関係と人権を大切にする共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的とし、多くの市民が人権と差別について学び、交流する文化の祭典として人権週間の期間中に開催した。

開 催 日	内 容	参加人数
12月8日 12月9日	囲碁ボール大会、交流もちつき大会、子どもたち全員集合、記念講演会、各種展示・発表 等	1,300

(6) 社会調査研究について

地域の実情を的確に把握し、福祉の向上につなげるため、高齢者世帯への訪問・面談調査を実施した。

訪問地区	訪問対象世帯数	訪問世帯数
A 地区	9	9
B 地区	13	11
C 地区	8	8

D 地区	6	6
E 地区	3	3
F 地区	5	5
G 地区	32	24
H 地区	11	8
I 地区	10	8
合 計	97	82

10 子どもいじめ防止センターに関すること

(1) いじめ相談等の受付及び対応状況

ア 相談日及び時間 月曜日～金曜日（祝日、年末年始除く） 午前9時～午後5時

イ 相談受付の件数内訳（月別）

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
方 法	面接相談	2	1			1			2	6		1	3	16
	電話相談	6	3	3	3	3	7	7	12	28	12	16	18	118
内 容	いじめ	7	4	3	3	4	7	7	14	34	12	16	21	132
	その他（※）	1										1		2
相 談 者	本人	2			1	1	1		1	17	2	2	2	29
	家族	6	4	3	2	3	6	7	13	17	9	14	18	102
	友人・知人													
	地域・関係機関										1	1	1	3

※ その他・・・子育て不安、家族や職場の対人関係の悩み、要望など

ウ 対応状況

相談者に寄り添い、話を聞くとともに、相談者と共に解決方法を考える姿勢で相談を受けた。

相談者の了解を得た上で学校等への情報提供を行った事案については、情報提供後も学校に様子を聞くなど、学校等と連携し解決に努めた。

なお、子どもいじめ防止センターへの相談のうち、子どもの生命、心身又は財産に関わる重大ないじめ事案はなかった。

(2) 広報・啓発活動

ア 啓発カードの配布

学校や公共施設等に設置した。

イ 啓発クリアフォルダーの配布

7,000枚を作成し、全小中学生に配布した。

ウ 啓発ポスターの掲示

ポスターカレンダー450枚を作成し、学校、自治会、公共施設、病院、大型店舗などに掲示した。

エ 子どもいじめ防止センターだよりの発行

親子でいじめについて話し合うきっかけづくりとして、各学期に1回発行し、全小中学生へ配布するとともに、市内各自治会へ回覧した。

	発行月	内容	発行部数
15号	H30年6月	小さな声に応え一緒に今を生き抜くために	各11,000部
16号	H30年9月	いじめる側の心・いじめられる側の心	
17号	H31年1月	グループ分け	

オ 「いじめから子どもを守ろう出前mini講座」の実施

保護者や地域住民に子どものいじめについて考える機会をつくるため、PTAや公民館等に呼び掛け、子どもいじめ防止センター職員による講座を実施した。

テーマ	・「いじめ」の早期発見と対策 ・いじめ防止対策推進法をふまえたいじめへの対応	
実績	実施回数 8 回 (対象 教職員、乳幼児サークル等)	参加人数 269

カ 弁護士によるいじめ防止出前授業の実施

弁護士が、人権の視点からいじめについての出前授業を行うことにより、いじめを防止する意識を育成するため、兵庫県弁護士会の協力を得て、中学校 6 校 18 クラスで実施した。

キ 講演の実施

市民、保護者及び教職員の、いじめ問題に対する理解と認識を深めるため、講演を関係機関の大会において共催した。

三木市連合 P T A 研究発表会記念講演会（三木市連合 P T A 共催）

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
2 月 11 日	三木山森林公園 音楽ホール 講師：三木市子どものいじめ対策 専門委員 弁護士 曾我 智史	講演「いじめ調査から 見えてきた児童生徒を めぐる実情と課題」	190

(3) 教育委員会及び学校との連携

教育委員会といじめ防止対策推進法に関する市の対応や、いじめに関する情報に関して情報交換などを行った。

また、市内小中特別支援学校全 25 校を 2 回訪問し、学校いじめ防止基本方針の策定状況や学校の状況を聞くとともに、連携について話し合った。